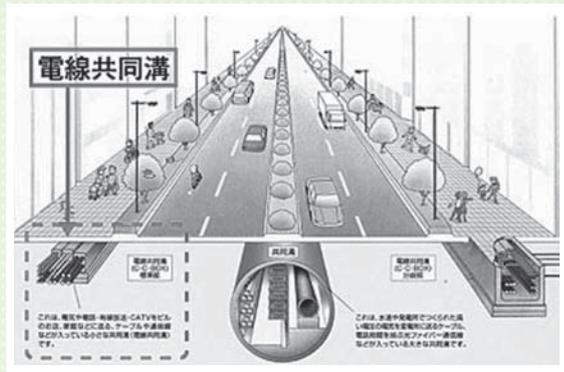


田中 克周 議員

震災に備え電柱の地中化を

**問** 発災時の電柱の倒壊は、被害の拡大につながり復旧の妨げになる。過去の地震で甚大な被害を受けた旧東海道沿いの袋井地区は、住宅密集地で電柱の倒壊の危険性が高い。電柱の地中化により災害に強いまちづくりのモデル地区として対策を進めたい。

**答** 電柱の地中化は、地震発生時や台風による暴風発生時において、被害発生を抑制する効果があると考えられる。しかし、地中化を自治体为主导で進める場合には、材料費や施設費は自治体の負担となり、空中線の工事費に比べ約30倍の経費を要するため、強力な補助制度が必要となる。まずは、家屋の耐震化対策が最優先課題と捉える。今後新しいまちづくりを進める際には、都市景観、観光振興、災害防止などの観点からも電柱の地中化について、検討していきたい。



電柱の地中化のイメージ  
(国土交通省中部地方整備局ホームページより)

新公会計制度への対応は

**問** 総務省から新たな統一基準に基づく会計処理を求められているが、どのような対応を考えているか。

**答** 発生主義・複式簿記の導入が前提とされるため、まず国から提供されるソフトウェアの確認などの準備作業を進め、平成29年度に新基準による平成28年度決算に係る財務書類を作成する予定である。

寺井 紗知子 議員

子どもの安全安心のために

**問** 虐待・ネグレクト・貧困などから子どもの人権や命を守るために、みんなで子どもを守っていくこと、心を一つにする「子どもの権利に関する条例」を制定する考えは。

**答** 現時点では考えていない。「子育てするなら袋井市」を標榜していく上で話題になったら関係者と協議したい。

**問** 本市には一児童福祉施設一退所者の就業を支援するネットワークの会がある。子どもたちにとって自立するための就業は大変難しい。市としても会を支援する考えは。

**答** 関係機関や団体と連携を図りながら、広報ふくろいやホームページで紹介し、市内企業等には就労体験の場の提供や協力事業所としての参加を呼びかけなど支援していきたい。

袋井駅南地区の

土地利用の状況は

**問** 事前協議の措置事項が出て1年になる。本申請に時間がかかっているが、これまでの進め方などに問題はなかったか。市民の期待に応えるため、市長のリーダーシップの発揮に期待するが。

**答** 率直な話し合いが必要であり、そのために市が仲介に入ることも必要と考えている。



整備が待たれる駅南地区